

シリア及びヨルダンに対する新規支援

シリア及びヨルダンに対する約2,100万ドルの新規支援の詳細は以下のとおりです。以下の2案件について、今後、我が国と被援助国との間で交換公文に署名がされれば、2017年の我が国によるシリア国内向けの支援総額は1億ドル以上、シリア、イラク及び周辺国への支援は総額約3.2億ドルとなる予定です。

1 シリアの国内避難民、帰還民等への人道支援

- (1) 昨年の激しい戦闘のために多くの建物やインフラが破壊されたシリア第二の都市であるアレッポにおける緊急・人道的性格の支援として、国連開発計画（UNDP）を通じ、約600万ドル（約7億円）の無償資金協力を実施することを決定しました。
- (2) 本年1月から7月にかけて、40万人を超える避難民がアレッポへの帰還を果たしており（国際移住機関（IOM）、2017年8月現在）、帰還民は損壊した住居での貧困状態の中、生活を再建せざるを得ない状況となっています。本協力は、市街地の瓦礫処理や、病院、学校等社会インフラの修復等を実施することにより、シリアの人々への人道支援を行うものです。

2 ヨルダンのシリア難民受入れ地域に対する支援

- (1) 現在、約66万人（国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、2017年7月現在）のシリア難民を受け入れるヨルダンに対し、約1,500万ドル（約16億円）の無償資金協力を実施することを決定しました。
- (2) この計画は、北部のシリア難民受入れ地域を対象に、廃棄物処理に必要な機材を整備するものです。

- 3 我が国は、2016年のG7伊勢志摩サミットの機会に、中東安定化のため総額約60億ドルの包括的支援を表明しており、上記2案件は、その一環として実施するものです。